

リも音させぬ静けさ。

あの栗ミ蜂ミ白ミが相談して、猿をこらしめに猿の家に
出かけ様にするあたり、子供達は雀躍して喊聲を揚げる有
様に、多血質の私は、すぐ又やつて見たいなま心に思つた。

先生の方も次のお仕事でお急ぎの様だつたし、私共も修

禮（お辭儀）

氏 原 鏡

禮に座禮ミ立禮ミありますが、其作法態度の如何
により其人柄の程がうかがはれる様に思はれ、其禮の
仕方にも人により頭を下げるに低きあり、高きあり、其
流儀は一様ではありませんが、婦人は低流の方が女ら
しく床しく感ぜられ、高流は男子に適する様に思はれ
ますが、皆様は御自分のなさる禮の仕方に付て何かお
考へになつてお出でせうか。幾ら敬意を表する心構へ
の禮も其態度の如何によつて其對者に好感をせられぬ
場合がありはしませんでせうか。殊に初對面の時に此
人は温厚でないらしい、さうも行過ぎ者らしいなき
ミ見られたミすれば、之れが例へ一時的の推測しして
も不利の立場ではありませんか。

昔からの言にあの人は頭が高いミて其横柄の態度を

了する子供ミ父兄ミをかゝへてあわたゞしかつたので、人
形の仕掛等細々ミ拜見する機會を遂ぞ逸してしまつて、誠
に残念に堪えない次第ではあるが、あゝゆうものを保婦の
手で、屢々見せてやれたら、こちらも満足、子供も仕合せ
だらうミつくぐ思つた。

嫌はれあの人は腰が低いミて親まれるミ、此語の社交
上大に味ふべきことではありませんか。吾人は其接す
る人に對し不快の感を與へぬ様親まれる様心懸けねば
ならぬミ思ひます。尙在職地の風俗習慣の上にも配慮
を要するものミ思はれます。嘗て私の在職地の一般に
腰低く上流の人さへも頭の下げ方低く之れに對し度々
顔負け失敗致しました。爾來之れに注意して座禮には
臂を張らぬ様に兩手を疊の上に揃へ頭部を其上に置き
間のすかない様に對して敬意を表し、立禮には兩手を揃
へて膝頭の下の方に置き敬意を表する禮を致しました。
以上は甚失禮では御座いますが近頃頭の低くない方々
を見まして、幾ら學識を備へられても處世の上にも不利
ならむミ残念の餘り申述べました。